

# 世界・日本・沖縄の経済動向

---

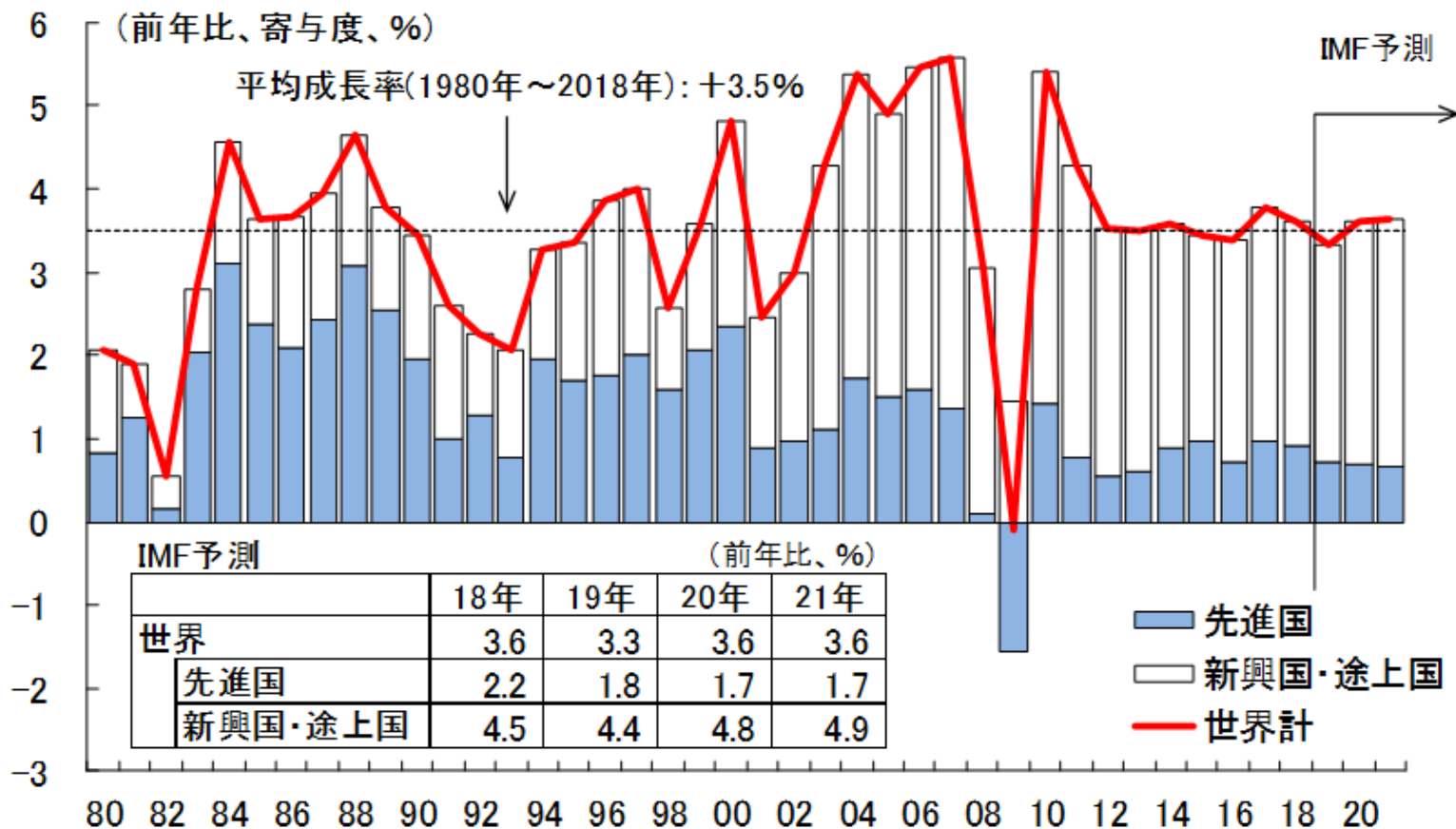
2019年6月14日

日本銀行 那覇支店

桑原 康二

# 1. 世界経済(1)

- ・世界経済の成長率は、2016年度第1四半期をボトムに上昇。
- ・その後、中国や欧州の減速等から、成長のペースが落ちているが、今年の後半以降、中国の景気刺激策の効果等により、総じてみれば緩やかに成長を続ける、という姿が期待される。
- ・ただし、米中の通商交渉や、ITサイクルの調整など、引き続き下方リスクが存在。



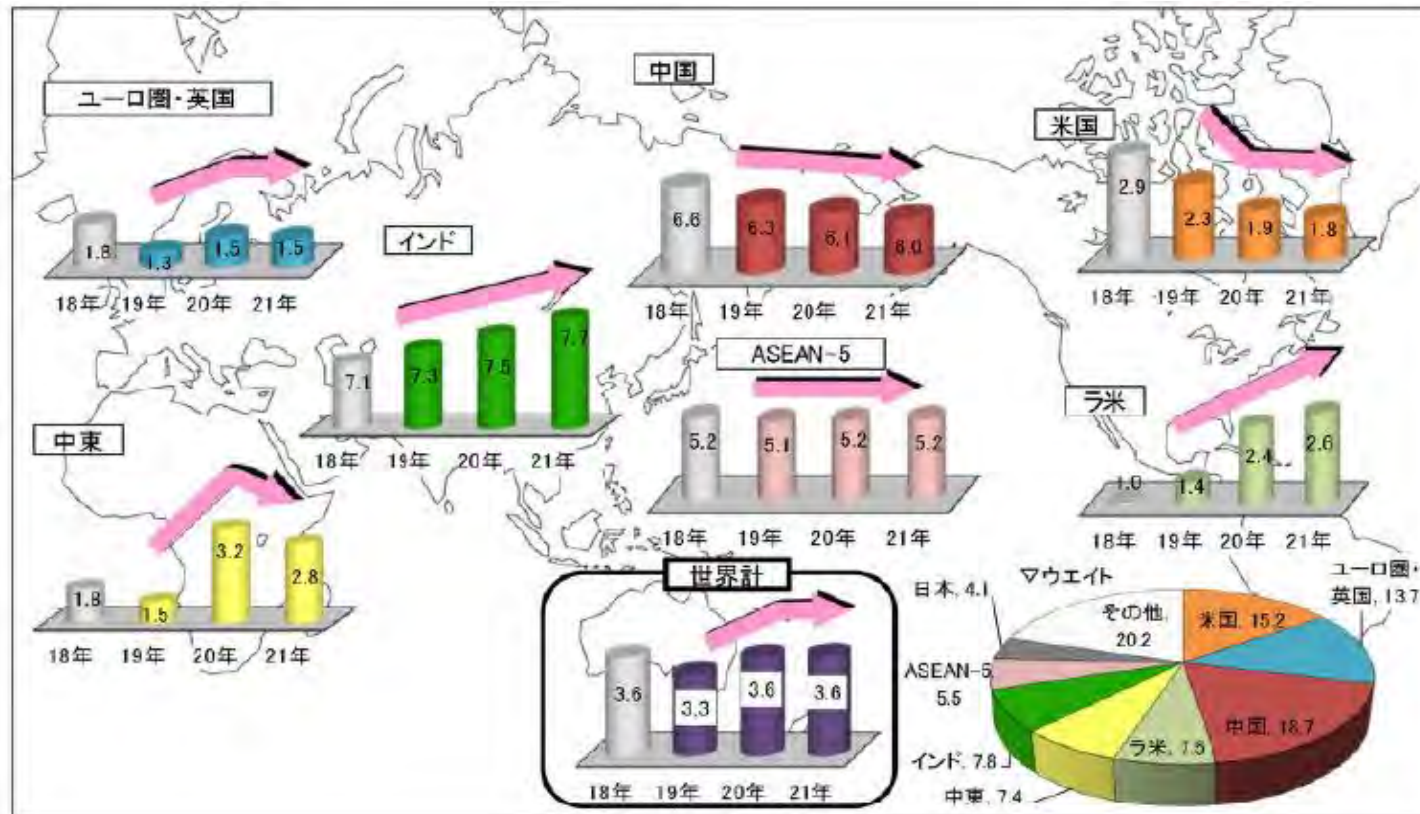
(注)2019年4月時点。

(出所)IMF

# 1. 世界経済(2): 国・地域別の見通し

- 中国は所得倍増計画達成に向けて減速しつつも、総じて安定成長。アジア新興国は総じて横ばい。欧州は、今年上期まで減速状態を続けた後、潜在成長率並みに復調。米国は、減税効果の剥落とともに潜在成長率近傍へ。資源国やその他新興国は総じて成長率を高めていく。

## <主な国・地域別の経済見通し>



(注)円柱は、IMFによる成長率見通し(2019年4月時点)。インドは年度ベース。

中東は北アフリカ、アフガニスタン、パキスタンを含む。

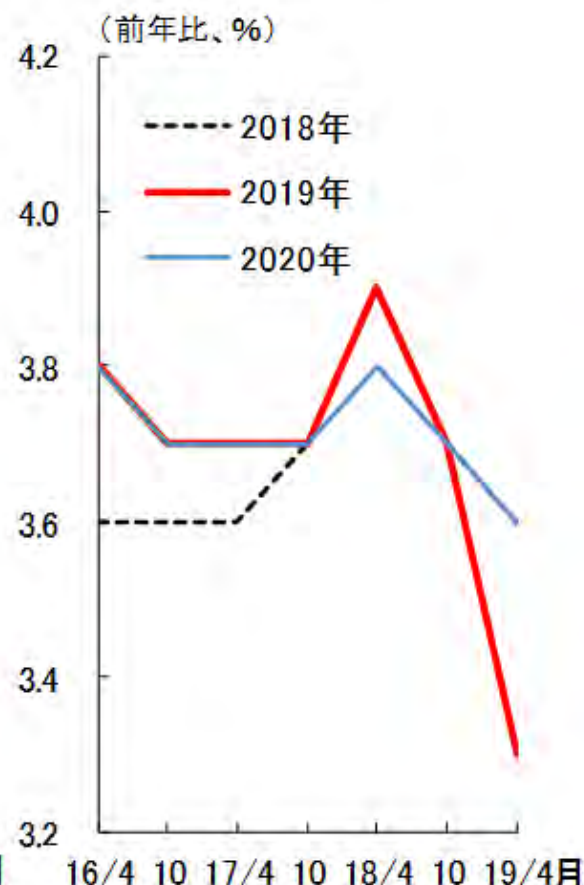
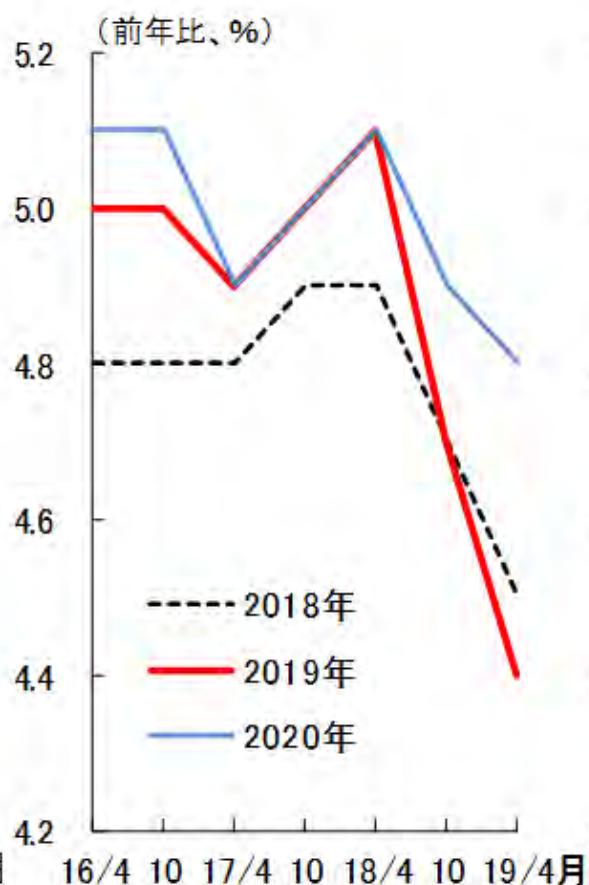
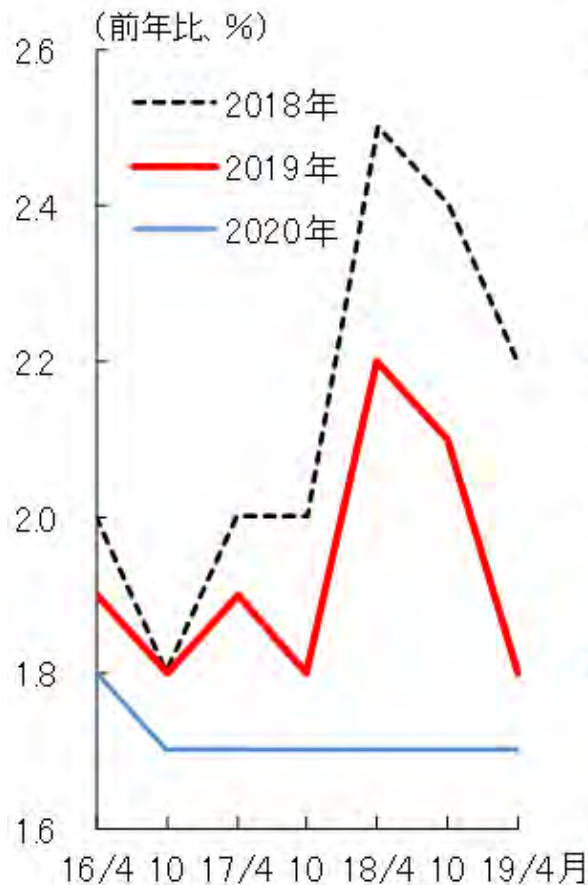
(出所)IMF

# 1. 世界経済(3): 見通しの予測改定状況

<先進国>

<新興国・途上国>

<世界計>



(注) 小数第1位未満を四捨五入したもの。

(出所) IMF

# 1. 世界経済(4): 国・地域別の見通し(本年4月時点)

(前年比、%)

|         | 2018年<br>(実績) | 2019年<br>(見通し) | 2020年<br>(見通し) | 2021年<br>(見通し) |
|---------|---------------|----------------|----------------|----------------|
| 先進国     | 2.2           | 1.8 (▲0.2)     | 1.7 ( 0.0)     | 1.7            |
| 米国      | 2.9           | 2.3 (▲0.2)     | 1.9 ( 0.1)     | 1.8            |
| ユーロ圏    | 1.8           | 1.3 (▲0.3)     | 1.5 (▲0.2)     | 1.5            |
| 英国      | 1.4           | 1.2 (▲0.3)     | 1.4 (▲0.2)     | 1.5            |
| 日本      | 0.8           | 1.0 (▲0.1)     | 0.5 ( 0.0)     | 0.5            |
| 新興国・途上国 | 4.5           | 4.4 (▲0.1)     | 4.8 (▲0.1)     | 4.9            |
| 新興アジア   | 6.4           | 6.3 ( 0.0)     | 6.3 (▲0.1)     | 6.3            |
| 中国      | 6.6           | 6.3 ( 0.1)     | 6.1 (▲0.1)     | 6.0            |
| インド     | 7.1           | 7.3 (▲0.2)     | 7.5 (▲0.2)     | 7.7            |
| ラ米      | 1.0           | 1.4 (▲0.6)     | 2.4 (▲0.1)     | 2.6            |
| ブラジル    | 1.1           | 2.1 (▲0.4)     | 2.5 ( 0.3)     | 2.2            |
| 新興欧州    | 3.6           | 0.8 ( 0.1)     | 2.8 ( 0.4)     | 2.9            |
| CIS諸国   | 2.8           | 2.2 ( 0.0)     | 2.3 ( 0.0)     | 2.3            |
| ロシア     | 2.3           | 1.6 ( 0.0)     | 1.7 ( 0.0)     | 1.7            |
| 世界計     | 3.6           | 3.3 (▲0.2)     | 3.6 ( 0.0)     | 3.6            |

(注)2019年4月時点。( )内は2019年1月時点の見通しとの差。インドは年度ベース。

(出所)IMF

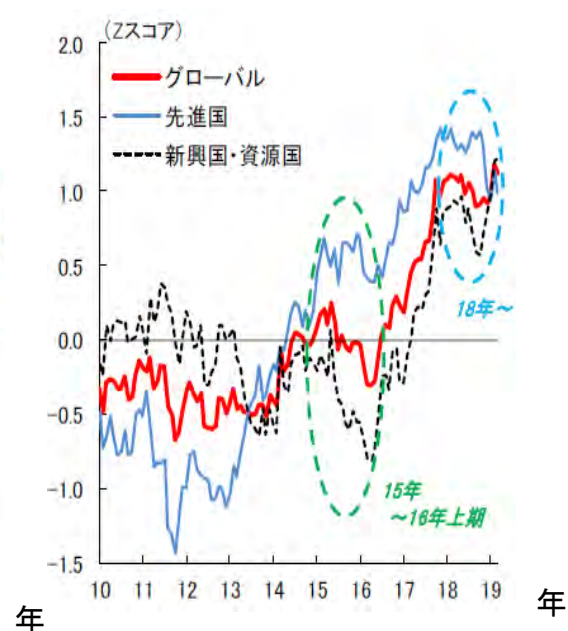
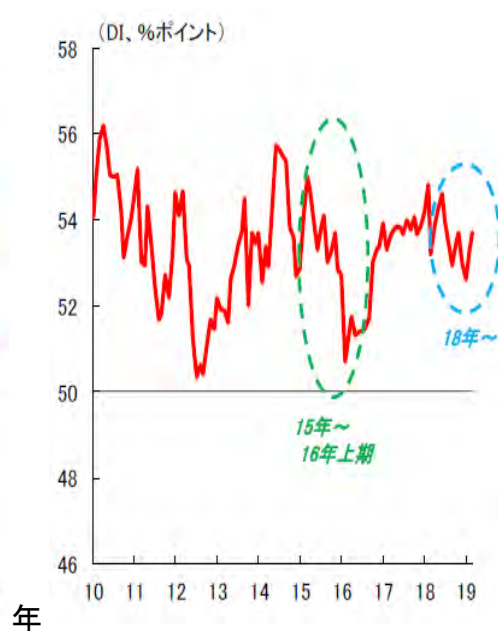
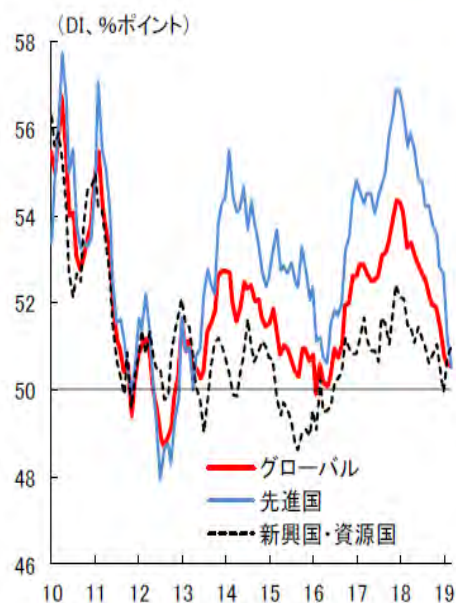
# 1. 世界経済(5)

- ・PMIを見ると、製造業の景況感(マインド)は、悪化している国・地域もみられるなど、このところ改善傾向を弱めている。
- ・一方、サービス業の景況感は、改善傾向が概ね持続している。

＜製造業PMI＞

＜サービス業PMI＞

＜消費者コンフィデンス＞



(注) PMIは「購買担当者景気指数(Purchasing Manager's Index)」。50が景気の上向き・下向きの分岐点とされている。

製造業PMIのうち、グローバルは、J.P.Morganグローバル製造業PMIを使用。先進国は、4か国・地域(米国、ユーロ圏、英国、日本)、新興国・資源国は、17か国・地域(中国、韓国、台湾、ロシア、ブラジルなど)の製造業PMIを、IMF公表のGDPウエイトで加重平均したもの。

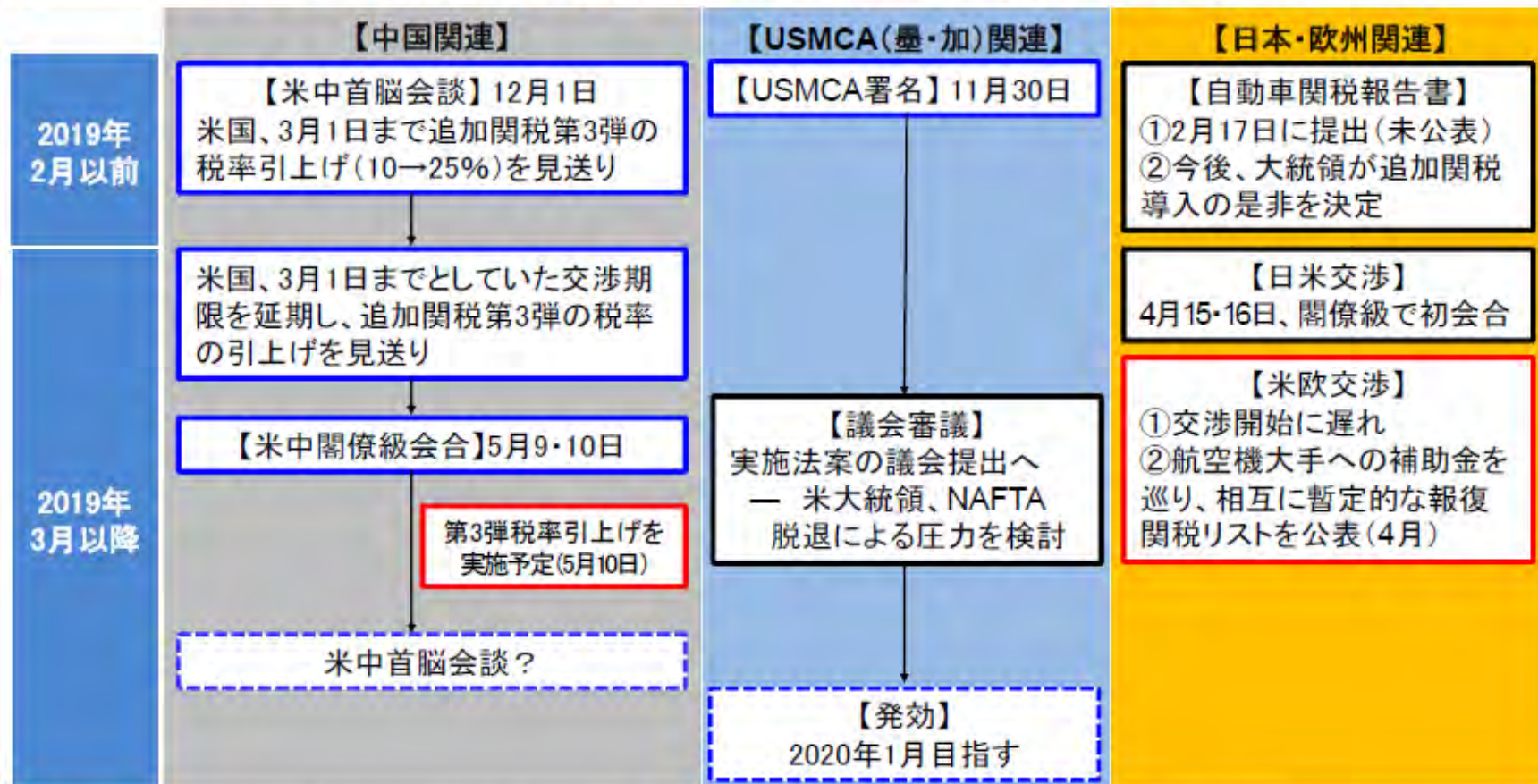
サービス業PMIは、J.P.Morganグローバルサービス業PMI事業活動指数を使用。

消費者コンフィデンスは、主要国・地域の消費者コンフィデンスを、05-18年平均と同期間の標準偏差で標準化し、PPPウエイトで加重平均して算出。直近は3月(公表の遅い国は前月から横置き)。

# 1. 世界経済(6)

## ・ 米国政府を相手とする通商交渉の展開と今後の想定

### < 米国政府を相手とする通商交渉の進捗状況(相手国・地域別) >



(注) 各枠線の線種については、点線が今後想定されるシナリオ、青が通商摩擦を緩和させる動き、赤が通商摩擦を過熱させる動きを示す。

(出所) JETRO、各国政府、各種報道